公立東濃中部医療センター広報誌

つなぐ

2026
AUTUMN

創刊号

はじめまして
公立東濃中部医療センターを紹介

退任のごあいさつ
前病院長　塚本 英人

病院長就任のごあいさつ
病院長　森島 逸郎

医療機器・施設紹介



地域住民の「頼りがいのある病院」を目指します

JA岐阜厚生連
公立東濃中部医療センター
Tono Chubu Medical Center

外来診療担当表

●外来受付時間／午前8時30分～午前11時30分　●休診日／土曜・日曜・祝日・年末年始

2026年9月1日現在

診療科	診察室番号	AM PM	月	火	水	木	金
内科共有1 血液内科／内分泌 循環器内科	A1	AM		山内 辰也(血液内科)	安藤 操(代務医／一般内科)	山内 辰也(血液内科)	池庭 誠(代務医／内分泌)
		PM				池庭 誠(代務医／内分泌)	奥村 健二(代務医／循環器)
内科共有2 膠原病／一般内科	A2	AM		西尾 克彦(膠原病)	山口 満(代務医／一般内科)	西尾 克彦(膠原病)	西尾 克彦(膠原病)
腎臓内科	A3	AM	村山 慎一郎	田中 まりえ	三輪 真幹(代務医)	澤﨑 貴子(代務医)	足尾 慶次(代務医)
内分泌内科	A4	AM	芦田 涼成(代務医)	安藤 詩奈子(代務医)	吉田 詢	三輪 大介(代務医)	芦田 涼成(代務医)
呼吸器内科	B1	AM	飯島 淳司	南谷 有香(代務医)	笠原 嵩翔	柴田 尚宏	木村 隼大(代務医)
		PM				柴田 尚宏(無呼吸外来)	
初 診	B2	AM	担当医	鈴木 瞳(代務医)	祖父江 秀(循環器)	担当医	米川 淳(循環器)
		PM				2・4週 ペースメーカー外来	
初 診	B3		1・3・5週 小柳 裕揮 2・4週 吉田 詢	1・3・5週 宮地 達郎 2・4週 米川 淳	1・3・5週 田中 幸明 2・4週 横山 敬史	1・3・5週 新見 隆夫 2・4週 飯島 淳司	1・3・5週 太田 知英 2・4週 祖父江 秀
循環器内科	B4	AM	宮前 貴一	森島 逸郎	塚本 英人	櫻井 礼子(代務医)	塚本 英人
		PM					宮前 貴一(不整脈外来)
消化器内科	B5		長屋 寿彦	長屋 寿彦	1・3・5週 横山 敬史 2・4週 小柳 裕揮	横山 敬史	宮地 達郎
内科共有3 呼吸器内科／消化器内科	B6		太田 翔(代務医／呼吸器)	2・4週 宮地 達郎(消化器)		後藤 希(代務医／呼吸器)	小柳 裕揮(消化器)
一般内科	B7		田中 幸明		太田 知英	吉田 正樹(代務医)	新見 隆夫
整形外科	C1		村瀬 史典(代務医)	青木 拓巳	加藤 健太郎	佐伯 総太(代務医／手の外科)	大間知 孝顕
	C2		青木 拓巳	大間知 孝顕	大間知 孝顕	西本 聡	宮川 昂己
	C3		宮川 昂己	加藤 健太郎	宮川 昂己	青木 拓巳	加藤 健太郎
	C4			西本 聡	西本 聡	石塚 なお子(代務医)	
脳神経内科	D1			加藤 秀司	加藤 秀司	加藤 秀司	加藤 秀司
脳神経外科	D2		田中 嘉隆	北島 英臣	清水 陽平	佐々木 望	北島 英臣
形成外科	D4		前田 直希	前田 直希		前田 直希	1週 山内 真紀子(代務医)
外 科	D7	AM	山家 豊	砂川 祐輝	酒井 彩乃	山家 豊	大谷 聡
		PM				1・3週 福井 高幸(代務医／呼吸器外科) 2・4週 沼波 宏樹(代務医／呼吸器外科)	
	D8		木之下 幸夫	木之下 幸夫	岡崎 泰士	砂川 祐輝	木之下 幸夫
外科共有 麻酔科／ストーマ外来	D9		麻酔科外来	麻酔科外来	麻酔科外来	ストーマ外来	ストーマ外来
血管外科 乳腺外科	E1	AM		稲熊 凱(代務医／乳腺外科)	山本 希誉仁(血管外科)	山本 希誉仁(血管外科) ※完全予約制	岡崎 泰士(血管外科)
		PM		15時～16時 石橋 宏之(代務医／血管外科)			13:40～ 宮嶋 則行(代務医／乳腺外科)
泌尿器科	E2		濵本 幸浩	濵本 幸浩			
	E3		小林 幹典(代務医)		多田 晃司(代務医)	9:30～11:30 渡邉 將人	9:30～11:30 渡邉 將人
小児科	F1	AM	門脇 朋範	元吉 史昭	門脇 朋範	門脇 朋範	元吉 史昭
		PM	予防接種		1ヶ月児健診		
	F2	AM	川合 裕規(代務医)	門脇 紗織(代務医)	元吉 史昭	元吉 史昭 2週 佐々木 汐里	葛西 涼介(代務医)
	F3	AM	岡本 博之(代務医) ※予約制	中野 正大(代務医) ※予約制	佐々木 汐里	佐々木 汐里 2週 馬場 礼三(代務医)	2・4週 中野 正大(代務医) ※予約制
		PM	岡本 博之(代務医) ※予約制	中野 正大(代務医) ※予約制	中野 正大(代務医) ※予約制	1・3週 岡本 博之(代務医) ※予約制	2・4週 中野 正大(代務医) ※予約制
眼 科	H1		内田 英佑(代務医)	成相 由依(代務医)	湯川 未来(代務医)	山﨑 勇哉(代務医)	山﨑 勇哉(代務医)
	H2		筧 清香	筧 清香	筧 清香		筧 清香
	H3		笹本 明生	笹本 明生	笹本 明生	笹本 明生	笹本 明生
耳鼻咽喉科	H1		楊 量雅(代務医)	菅 太一(代務医)	4週のみ 代務医		中村 宏舞(代務医)
	H3		岩下 利恵(代務医)	車 哲成(代務医)	4週のみ 稲福 繁(代務医)	小林 正佳(代務医)	楊 鈞雅(代務医)
皮膚科	H5		稲垣 克彦	稲垣 克彦	稲垣 克彦	稲垣 克彦	堀崎 健(代務医)
	H6					高士 昌之(代務医)	
歯科口腔外科	H7		萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)	萩原 純孝(歯科口腔外科)
	H9		横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)	横井 彰(歯科)
精神科	J1		加藤 美樹 ※初診完全予約制	加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央(代務医)
	J2					野瀬 早織(代務医)	関 正樹(代務医) ※特殊完全予約制
婦人科	K1	AM	青山 航也	藤田 和寿	青山 航也	中川 敦史	青井 好
産 科	K2		中川 敦史	青山 航也	青井 好	藤田 和寿	中川 敦史
産科・婦人科	K1/2	PM	遺伝外来・専門外来 ※完全予約制		産後健診・専門外来 ※完全予約制	専門外来 ※完全予約制	遺伝外来・専門外来 ※完全予約制
放射線治療科		AM		伊東 政也(放射線治療)		東 晶一(放射線治療)	
		PM			可児 裕介(温熱療法のみ)	可児 裕介(温熱療法のみ)	
リハビリテーション科			西本 聡	横手 大輝	横手 大輝	加藤 健太郎	横手 大輝
人間ドック			当番医	当番医	当番医	当番医	当番医

発行
JA岐阜厚生連
公立東濃中部医療センター
Tono Chubu Medical Center
〒509-5114 岐阜県土岐市肥田町浅野1078番200
TEL 0572-55-2111　FAX 0572-55-3390

最新情報はホームページをご覧ください。
病院ホームページはこちら
https://tono-chubu.gfkosei.or.jp/

はじめまして！
公立東濃中部医療センターをご紹介します

公立東濃中部医療センターは
東濃厚生病院と土岐市立総合病院がひとつになり、
2026年2月に開院した地域の中核病院です。
400床・36診療科を備え、救急・専門医療から
回復期リハビリ、地域包括ケア、緩和ケアまで幅広く対応。
急な病気やけが、その後の回復と暮らしまで
地域の皆さまを切れ目なく支えます。



東濃地域の暮らしと未来の医療をつなぎ支える 当院の特長

救急医療

二次救急指定病院として
地域の救急医療を支える



年間5,000件を超える救急患者の受け入れに対応できる24時間365日体制。一次脳卒中センター（PSC）コア施設として脳神経外科専門医が常時待機し、迅速な検査・治療に対応。ドクターヘリを活用した他院からの受け入れや、専門的な治療が可能な医療機関への搬送も行います。

専門医療

診療科の枠を超えた
臓器別・疾患別診療を提供



脳卒中センターと消化器病センターを設置し、専門医や看護師、リハビリスタッフなどが診療科の枠を越えて連携。脳卒中センターでは予防・急性期治療・リハビリを、消化器病センターでは内科と外科が協力し、検査・診断から手術、薬物療法まで、状態に応じて提供します。

緩和ケア

心と身体に寄り添い
患者さんとご家族を支える



20床すべてが個室の緩和ケア病棟と緩和ケア外来を設置。身体の症状だけでなく、気持ちや生活上の不安にも寄り添います。治療と並行した支援や在宅療養との連携、ご家族の相談にも対応し、ご希望の過ごし方を支えます。

産婦人科

地元で安心して
産み育てられる場所へ



医師・助産師が常駐し、妊娠から出産、産後まで対応。里帰り出産もご相談いただけます。「患者さんファースト」を大切に一人ひとりの患者さんに寄り添い、フリースタイル分娩や家族の立ち会い、母子同室など、お母さんとご家族の希望のお産をサポートします。

病院概要

名称	公立東濃中部医療センター
所在地	岐阜県土岐市肥田町浅野1078番200
設置主体	東濃中部病院事務組合
指定管理者	岐阜県厚生農業協同組合連合会
開設年月日	令和8年2月1日
診療科目	内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、 血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、 心臓血管外科、大腸・肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、 産婦人科、泌尿器科、皮膚科、リウマチ科、アレルギー科、麻酔科、リハビリテーション科、 放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、緩和ケア内科　　計 36診療科
病床数	400床（一般病床 296床、回復期リハビリテーション病床 44床、地域包括ケア病床 40床、緩和ケア病床 20床）

［ 基本理念 ］

地域住民の「頼りがいのある病院」を目指します

［ 基本方針 ］

1. 患者さんの人権を尊重し良質で安心安全な医療を提供します。
2. 地域社会から信頼される医療を行います。
3. 医療の発展に貢献できる病院を目指します。

退任のごあいさつ



前病院長　塚本　英人

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、令和8年8月末をもちまして公立東濃中部医療センターの病院長を辞する事と致しました。これまで共に働いて頂きました皆様、ご支援、ご協力を賜りました皆様を含め関わって頂きましたすべての皆様に心より感謝を申し上げます。

私は昭和63年4月名古屋大学より当時の土岐市民病院と国保中央病院が統合した土岐市立総合病院に初代河野親夫病院長とともに赴任致しました。河野病院長とともに新病院を軌道に乗せるべく、循環器内科医として努力してまいりました。多くの良いスタッフに恵まれ、急性期のカテーテル治療をはじめ、重症心不全治療なども可能となり、高血圧症、脂質異常症などの慢性疾患を含め、当地域での循環器系疾患治療に貢献できたと考えております。

また研修担当として多くの初期研修医を送り出しました。何人かは大学で要職に就き、あるいは東濃地域に戻り、地域の医療を支えるべく活躍をしており喜ばしい限りです。当時の土岐市立総合病院は新病院ということもあり活気にあふれ、勢いがあり、良い病院にしようとスタッフ全員が一生懸命頑張っていた事を思い出します。また地域の皆様はやさしく、温かい人ばかりで、とても仕事がやりやすく、楽しく過ごせました。

その後、平成25年に大学医局から、今後、医師派遣が困難になるため東濃厚生病院との統合が望ましいと提案され、平成26年循環器科スタッフとともに東濃厚生病院へ赴任致しました。その後、地域医療構想が策定され、国や県の後押しもあり両病院の統合に向けてスタートがきられました。経営母体の異なる病院の統合は、経営手法、スピード感、更には両病院の文化や考え方も異なっており、いろいろ難渋致しました。結局10年以上の歳月を要し、両病院のことが分かっているとの理由から最後まで統合に関わらせて頂きました。この間に建設費の高騰や、人材確保が十分にできず、当初の計画の変更を余儀なくされる面もありましたが、何とか令和8年2月開院することができました。この間、このプロジェクトに関わって頂きましたすべての方々に心より御礼申し上げます。



私自身、39年の時を経て、再び新病院の立ち上げに携わり、めったにできないことを経験したことに非常に感慨深いものがあります。十分なスタートが切れたとは言えませんが、9月より非常に有能な森島逸郎新病院長をお迎えすることができ、安心してバトンタッチができました。これから新病院の機能を十分に発揮し、質の高い、高度で先進的な医療を提供し、地域の皆様が安心、安全に暮らすことができ、皆様から信頼される病院になると確信しております。私ももう暫く、研修医のお世話や、地域医療の将来計画等に携わり、微力ながら新病院に協力できればと考えております。

最後に皆様方のご健勝を心より御祈念申し上げるとともに、これからも新病院を温かく見守って頂ければ幸甚に存じます。
これまで本当に長い間お世話になり誠に有難うございました。

病院長就任のごあいさつ



公立東濃中部医療センター 病院長　森島　逸郎

このたび、公立東濃中部医療センター病院長を拝命いたしました。
どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、新病院の開院に向けて多大なご尽力をいただき、現在も日々の診療を支えてくださっている塚本英人先生をはじめとするすべての職員の皆さんに、心より敬意と感謝を申し上げます。東濃厚生病院と土岐市立総合病院、それぞれが培ってきた歴史と伝統を受け継ぎ、新たな病院として歩み始めたこの大切な時期に、皆さんとともに病院づくりに携わることができることを大変光栄に感じています。

私自身はこれまで四半世紀にわたり、大垣市民病院で循環器内科医として診療に携わり、不整脈診療・カテーテルアブレーションを専門に、救急医療から高度専門医療、教育、研究、そして病院運営まで幅広く経験してまいりました。その中で実感したことは、地域医療と高度専門医療は決して相反するものではなく、両者を高いレベルで両立することこそが地域の中核病院の使命であるということです。多くの患者さん、地域の医療機関の先生方、そしてともに働く職員の皆さんに支えられながら培ってきた経験を、この公立東濃中部医療センターのさらなる発展のために生かしていきたいと考えています。

私が病院長として大切にしたいことは三つあります。

第一は、「患者さんを中心に据えた、安全で質の高い医療」です。私たちは常に患者さんの立場に立ち、職種や部署の垣根を越えて協力しながら、安心と信頼を感じていただける医療を提供していかなければなりません。

第二は、「職員が誇りを持ち、成長できる病院」であることです。医療は人が支える仕事です。互いを尊重し、自由に意見を交わせる風通しの良い職場があってこそ、質の高い医療が実現します。私は現場の声に耳を傾け、皆さんとの対話を大切にしながら病院運営を進めていきたいと考えています。

そして第三は、「教育と研究を大切にする病院」であることです。地域医療を担う病院であっても、日々の診療から生まれる経験や工夫には大きな価値があります。それを学びとして次の世代へ伝え、研究としてまとめ、全国、さらには世界へ発信していくことは、地域医療の質をさらに高めることにつながります。教育と研究は一部の人だけのものではありません。日々の診療を振り返り、「もっと良い医療はないか」と考え続ける姿勢そのものが、病院全体の成長につながると信じています。

公立東濃中部医療センターは、まだ完成した病院ではありません。これから職員の皆さん一人ひとりとともに創り上げていく病院です。地域の皆様から信頼され、職員が誇りを持って働き、未来を担う医療人が育つ病院、そして東濃地域にしっかりと根を張りながら、その成果を全国へ発信できる病院を目指して、私自身も先頭に立って努力してまいります。

皆さんとともに、公立東濃中部医療センターの新しい歴史を築いていけることを心から楽しみにしています。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年9月

PROFILE

略　歴

1991年　名古屋大学医学部 卒業、大垣市民病院 研修医
1995年　坂下病院 内科
1996年　名古屋大学医学部 第二内科
1999年　国立東名古屋病院 循環器科
2001年　大垣市民病院 循環器内科 医長
2005年　Good Samaritan Hospital 循環器科（米国）
2016年　大垣市民病院 循環器内科 部長
2024年　大垣市民病院 副院長
2025年　名古屋大学医学部 臨床准教授

専門分野

循環器内科
不整脈診療

所属学会・資格等

日本内科学会 専門医・指導医
日本循環器学会 循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会 専門医
日本不整脈心電学会 不整脈専門医

医療設備

診断から治療まで
幅広い医療ニーズに対応できる





手術支援ロボット ダヴィンチ

高精度の手術支援ロボットを用いて行う、身体への負担が少ない低侵襲手術。従来より精密で安定した手術操作で、痛みの軽減や早期回復が期待でき、前立腺がんや婦人科手術、消化器がんなど幅広い領域で活用。



がんの新しい治療法 ハイパーサーミア

高周波によりがん組織にダメージを与える治療装置。温熱療法による免疫の活性化も期待でき、リラックスして治療に臨みやすく、患者さんにも優しい治療法。



被ばくを抑えるがん治療 バリアン Edge

がん病変にピンポイントで放射線を集中させ、周囲の正常組織への影響を最小限に抑える。副作用の軽減や生活の質を保ちながら治療を継続できる。



リハビリ支援ロボット ウェルウォーク

下肢の麻痺や歩行機能が低下した患者さんの歩行訓練をサポート。脚の動きの補助、負荷調整のバランス支援。日常生活への早期復帰が期待できる。



PET/CT

がん細胞の活動性と体内の構造情報を同時に把握できる。微小ながん病変の発見や病気の広がり、治療効果の評価に役立つ。撮影時間の短縮や被ばく低減にも配慮。より正確で負担の少ない検査を実現。

PHOTO GALLERY

当院の魅力を紹介します



病 室

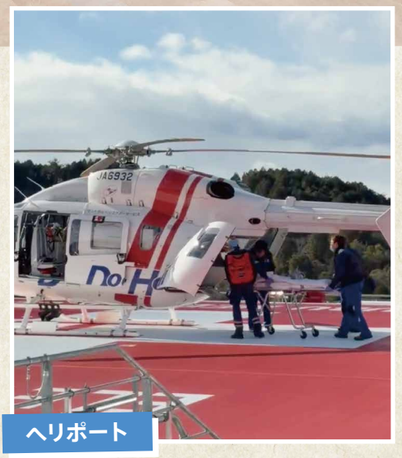


開放的なエントランス
笑顔でお迎えします



リハビリテーションセンター

山々を望みながらのリハビリ　一歩ずつ、いつもの暮らしへ



ヘリポート



産婦人科





健診センター



気持ちの和らぐアートを
院内各所に設置しています



売 店



レストラン

おいしい日替わりランチを
提供しています